



吉川彰一(財務委員長)
花岡賢一(副広報企画委員長)
石和 大(幹事長)
今井愛郎(副広報企画委員長)
下沢順一郎(相談役)
堀場秀孝(副政務調査会長)
高橋 宏(顧問)
小林東一郎(政務調査会長)
小島康晴(代表)
荒井武志(広報企画委員長)
竹内久幸(相談役)
埋橋茂人(副政策審議会長)
山岸喜昭(副代表)
寺沢功希(副政務調査会長)
依田明善(幹事長代理、政策審議会長)
()内は会派役職

代表年頭ご挨拶

代表 小島 康晴

昨年は、アメリカの大統領選挙をはじめ国際的にも大きく揺れ動いた年でした。国内でも熊本の地震や相次ぐ台風などの災害もあり、政治・経済的にも不安定な一年でした。

県内では、全国植樹祭や山の日記念大会など明るい話題もありましたが、経済対策の効果がなかなか地方に及ばず、県民生活の向上や人口減少に歯止めをかける取組の重要性を改めて痛感しました。

新年度には10の地方事務所に変えて「地域振興局」が発足します。身近な課題は身近な組織で解決するとい

うことを本旨に、有効に機能するよう注視してまいります。

新たな総合5か年計画策定の論議も本格化します。県政課題は山積しています。私たちが会派は「県政改革の理念を共有し、県政に常に新しい風を送り未来の信州を創っていく」という基本理念のもと、県民にわかりやすく、簡素で効果的な県政運営のため、情報公開をいっそう推進し、県民が参画しやすい県政を目指してまいります。

本年も、どうぞよろしくお願いたします。

10月17日、中野市中央公民館で、「信州・新風・みらい」による本年度第1回目の「県政対話集会」を開催、約130人にご参加いただき、県政の様々な分野にわたるご意見をいただきました。 それらのご意見には、会派所属の出席議員14人からその場でお答えするとともに、一般質問等にも反映をさせています。 また、お招きした池田中野市長、高田北信地方事務所長、荻野北信建設事務所長には最後まで参加いただき、熱心に議論をお聞きいただきました。 県民の皆様から直接ご意見をいただけることは議員にとって県政を考える上で基本とすべきことであり、参加された皆様

からも「良い企画だった」「これからのような機会を設けて欲しい」との感想を多数いただきました。それらの声に応えられるよう、今後、会派一丸となって取り組んでまいります。



進めよう議会改革

選挙区等調査特別委員会は、11月18日に第5回委員会を開催、平成27年国勢調査結果確定値の報告等が行われました。

12月2日の第6回委員会では、1票の格差について集中的に議論を行い、委員長が「概ね2倍程度を目指す」ことを提案、全会一致で了承。

12月8日の第7回委員会では、議員定数について各会派が報告し合い、自民党県議団が「1名減」、我が会派は人口減少分を勘案し「2名減」を主張、共産党は「現状維持」、新ながの・公明は具体的数値を示しませんでした。

2月8日の次回会議では、それぞれの考えに沿

11月定例会 42億円余の補正予算案、地域振興局の設置条例案、などを可決

11月定例会は、11月24日から12月9日までの16日間の会期で開催されました。

製造業や農林業の競争力強化、子育て・教育環境の充実・文化芸術の振興等に要する経費を盛り込んだ42億8806万6千円の一一般会計補正予算案、地域振興局の設置に関する条例案、平成27年度一般会計等の決算の認定等の知事提出議案、選挙管理委員・補充員の選出、上海への議員派遣、我が会派「信州・新風・みらい」提出の子どもの貧困対策の更なる推進を求める意見書案などが可決・承認されました。

補正予算のポイント

- 次世代産業の技術支援強化 5600万円
 - 評価試験機器を工業技術総合センターに整備
 - 農業関係試験場の研究開発等への施設整備
 - 高品質・高強度製品の開発等 3億833万円
- 力強化 7億3117万円
 - 技術開発の高度化等
 - 100年カラマツ活用への試験研究施設整備
 - 23億7014万円
- 信濃美術館の改築・修復 3537万円
 - 信濃美術館本館等の全面改築等の基本設計ほか
 - 直轄事業負担金
 - 23億7014万円

国が行う道路、河川等の直轄事業負担金の追加

地域振興局の設置

本年4月から、県内10か所の地方事務所が衣替えし、知事・副知事に直結する組織「地域振興局」が発足します。

局内には、地域の横断的な課題への対応や政策づくり、現地機関の相互の調整を担う企画振興課が新たに設置されます。

新たに、10所合わせて1億円程度の「地域振興費(仮称)」が創設され、地域振興局長が地域連携の中で主体的に活用していただけるようになります。

ったシミュレーションを基に議論していくことになりました。

信州・新風・みらい 県政対話集会 in こもろ

日時：2017年1月23日(月) 午後6時～
会場：小諸市市民交流センター「ステラホール」
どなたさまもお気軽にご来場ください。

2月定例会日程
2月16日から開催予定

- ▽2月16日 開会
- ▽22～23日 代表質問
- ▽24～3月2日 一般質問
- ▽6～10日 委員会審議
- ▽14日 採決
- ▽15日 役員選任
- ▽16日 閉会



県政対話集会代表あいさつ

小島康晴の 県政レポート VOL 39

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX (0265) 23-5388

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。
長野県議会 信州新風みらい
〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592
HP:http://shinshinmirai.com
E-mail:info@shinshinmirai.com

11月県議会

新たな「地域振興局」の名称は「南信州」

総合5か年計画研究会が発足 副会長に

県政報告第39号をお届けします。理事者側が次期総合5か年計画の策定に着手したことに伴い、県議会においても同研究会を発足させ、私は会派を代表して副会長に就任しました。よりよい計画づくりのため全力で取り組んでまいります。

総務企画警察委員会の論議から

総務企画委員会

持ち時間の大半をさいて地域振興局の名称について質しました。

【質問】何十年も「下伊那地方事務所」でやってきて特に違和感もない。「上伊那」はそのままで、なぜ「下伊那」は変えるのか？

【答え】管内人口の過半数が飯田市民であり、地域住民に管轄区域の一部を指す、という誤解が生じてはならないと考えた。

【質問】管轄区域全体を表すものとしては「飯伊」が用いられている。総合計画の地域編でも「飯伊地域」とされている。なぜ「飯伊」を使わないのか？

【答え】市町村長や各種団体等の意見を聞く中で、地域では定着しているが、他の地域から見たときにどこか分かるのか、という疑問の声が多くあつた。分りにくいものは採用できないと考えた。

【質問】県の組織としては「南信」を冠するものが多々あり、「南信州」はふさわしくないと申し上げてきた。「南信」と「南信州」と差別化できるとの根拠は何か？

【答え】県において「南信」は南部の広域の総体を示して使用している。「南信州」は広域連合の名称に使われ、飯田下伊那地域を示すということが共通認識になっていると判断した。

【質問】9月議会で「様々なご意見をお聞きする中で成案としていきたい。」との答弁であったが、その後どのような意見聴取をしたのか？

【答え】今後不都合が生じた場合はどのようにすればよいか？

【答え】先のことは申し上げにくいですが、必要性が認められれば、こちらから提案することも想定できると思う。

警察委員会

警察委員会

天皇皇后両陛下の行幸啓の警備に対し敬意と感謝を申し上げ、次の3点を質しました。

【質問】「子どもを性被害から守るための条例」の規制項目に係る規定が11月1日から施行となったが、警察関係の対応はどうか？

【答え】10月に各警察署の担当課長を集め、教養を実施し、条例の拡大解釈や濫用がないよう徹底した。



総合5か年計画研究会

平成27年度決算を認定

私が通算5回目の担当をした決算特別委員会は、上伊那、松本、佐久および上田の現地機関と本庁全部署等を2班体制で審査し、12月2日賛成多数で決算を認定し終了しました。

総括的な指摘事項として、特に歳出面においては、翌年度への繰越が多額となっており、可能な限り早期発注と早期完了に努め、計画的に事業を実施することを求めました。

①大北森林組合等の補助金の不適正受給事案に関して、同組合に対し、経営基盤強化策等を講じた上で、計画的かつ早期に補助金が返還されるよう指導を行うとともに、県民への説明責任を果たすこと。

②事業改善シートの作成にあたっては、適切に目標設定を行い、「長野県総合5か年計画」が最終年度を迎え、実施事業がいかに県民生活の向上に成果を上げたか、県民に明確かつわかりやすく伝わるよう努めること。



11月9日、知事と正副議長・各会派代表者との懇談会が行われました。知事からは、ベトナム訪問については、現地機関の見直しについて、次期総合5か年計画策定について、新年度当初予算編成方針について発言があり、私からは次の点を申し上げます。

阿部知事との懇談会から

「地域医療構想」一策定について、国の机上の計算の数字が一人歩きしてベトナム訪問の削減等行われ、現場の声を良く聞き慎重な対応をすること。

現地機関の見直しについては、地域振興局長の権限等について、県民にわかりやすく条例で示すこと。総額1億円の予算については、使い勝手の良いものとする。名称は明確に地域を示す「飯田下伊那」とすべきである。



11月25日、環境部、企業局など

閉会中の主な公務日誌

10月13日 決算特別委員会・本庁調査：県民文化部、建設部など

10月17日 会派・県内現地調査・県政対話集会：中野市、野沢温泉村

10月19日 決算特別委員会・本庁調査：危機管理部、警察本部、企画振興部など

10月21日 長野県戦没者追悼式(上田市)

10月26日 総務企画警察委員会・県外調査：三重県、奈良県、京都府

11月1日 リニア南アルプストンネル長野工区安全祈願式・起工式(大鹿村)

11月7日 会派・県外調査：福井県、石川県

11月10日 長野県地方自治政策課題研修会(県庁講堂)

11月15日 決算特別委員会・本庁調査：環境部、企業局など

11月25日



きのこ工場にて



不戦の誓いの碑の前にて